

平成21年度 水道部 水道企業管理者マニフェスト

私の思い 水道企業管理者 松江 伸二

顔写真

戦後一貫して拡張整備してきた施設の本格的な改良更新時代を迎えるとともに、節水型ライフスタイルの広がりや人口動向を背景とする水需要の逡減など、大阪府水道部を取り巻く経営環境は構造的変化の中にあります。このような状況の中で、府域全体の水道システムの再構築を目指し、大阪市や受水市町村との協議などを進めていく必要があると考えます。

特に今年度、水道部は以下の3つの重点課題に取り組みます。

1点目は、「水道事業の府市統合」です。

この間の協議の経緯を踏まえ、府民に最大のメリットをもたらすため、長期的、広域的な視点に立って大阪市との協議を進めるとともに、さらに将来的な府域一水道を視野に、受水市町村との協議を進めてまいります。

2点目は、「受水市町村との連携強化、広域化」です。

施設の老朽化や人材不足など、市町村水道の経営環境はますます厳しくなっていくことから、府営水道と市町村水道との間で考えられる事業統合など広域化について、検討を深めてまいります。

3点目は、「水需要予測に基づく施設整備計画の見直し等」です。

耐震性の向上に代表される府域送水ネットワークの信頼性向上を図るとともに、将来の水需要に合った適正な規模となるよう水道用水及び工業用水施設の中長期整備事業計画を見直します。

これら重点課題に果敢に取り組み、府民に安全で高品質な水を安定的に提供するという水道事業者課せられた責務を将来にわたって果たしてまいります。

重点課題

- 1．水道事業の府市統合
- 2．受水市町村との連携強化、広域化
- 3．水需要予測に基づく施設整備計画の見直し

【重点課題：水道事業の府市統合】 関連部局（政策企画部）

遂行目標 (プロセス)	業績目標 (結果)
<p>【 戦略課題の目標 】</p> <p>安全・安価で高品質な水の安定的供給のための大阪市との統合に関する合意</p>	<p>【 アウトカムの数値目標 】</p> <p>顧客である市町村の「安全・安価で高品質な水の安定的供給ができる組織形態である」という評価（100%）</p>
<p>【 施策推進上の目標 】</p> <p>(1)大阪市、受水市町村との事業統合協議の実施（第1四半期）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市案(コンセッション型指定管理者制度)に対する府としての考えを取りまとめ ・市案を軸に、府・大阪市・受水市町村による協議を実施 <p>(2)府としての基本方針のとりまとめ（第2四半期）</p>	<p>【 アウトプットの数値目標 】</p>

()

・**コンセッション型指定管理者制度**

：コンセッションとは、受託者との間で事業権契約を締結することで、資産を保有したまま受託者に事業権を付与する方法。

【重点課題：受水市町村との連携強化、広域化】

遂行目標 (プロセス)	業績目標 (結果)								
<p>【 戦略課題の目標 】</p> <p>安全・安価で高品質な水の安定的供給のための受水市町村との連携強化、広域化</p>	<p>【 アウトカムの数値目標 】</p> <p>連携強化、広域化について、顧客である対象市町村の満足度（100％）</p>								
<p>【 施策推進上の目標 】</p> <p>(1)市町村受水機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分岐2系統化による受水機能強化事業（今年度実施：2箇所） ・河南地域の管路のループ化、二重化等による送水機能強化策等の検討（第1四半期～） ・千里浄水池の耐震化等強化策の検討（第2四半期～） ・あんしん給水栓の緊急改良事業に向けた実施設計（第2四半期～） <p>(2)広域化の実現に向けた市町村との検討実施及び検討成果のとりまとめ（第4四半期）</p>	<p>【 アウトプットの数値目標 】</p> <p>分岐2系統化による受水機能強化事業 H21年度末整備済 38箇所 / (全計画 74箇所)</p> <p>参 考</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>完成箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年度末</td> <td>36/74</td> </tr> <tr> <td>平成21年度末</td> <td>38/74</td> </tr> <tr> <td>第2中期 (～平成26年度末)</td> <td>74/74</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	完成箇所数	平成20年度末	36/74	平成21年度末	38/74	第2中期 (～平成26年度末)	74/74
年 度	完成箇所数								
平成20年度末	36/74								
平成21年度末	38/74								
第2中期 (～平成26年度末)	74/74								

()

・受水分岐強化事業

：受水市町村への安定給水を強化するため、府営水道の送水管からの分岐の2系統化を行う事業。

・河南地域の送水機能強化策の検討

：単一管路で供給されている河南地域への安定性向上のため、管路のループ化や二重化を視野に入れた送水管路の強化を図り、市町村分岐の受水を安定化させるための検討を実施。

・千里浄水池の耐震化と地域の強化対策事業

：千里浄水池及び同浄水池下流の送水管路の耐震化を推進する事業。平成21年度は、千里浄水池の耐震補強等の事業化に向けた検討（土質調査）を実施。

・あんしん給水栓の緊急改良事業

：災害時等の府民への応急給水拠点となる「あんしん給水栓」について、より安全に応急給水活動ができるような移設、改良する事業。平成22年度から平成26年度までの第2中期整備計画において42箇所整備するが、平成21年度は施工場所の決定及び実施設計を行う。

【重点課題：水需要予測に基づく施設整備計画の見直し】

遂行目標 (プロセス)	業績目標 (結果)
<p>【 戦略課題の目標 】</p> <p>安全・安価で高品質な水の安定的供給のための長期的、持続的な計画づくり</p>	<p>【 アウトカムの数値目標 】</p> <p>顧客である市町村の「安全・安価で高品質な水の安定的供給ができる計画である」という評価 (100%)</p>
<p>【 施策推進上の目標 】</p> <p>水需要予測と中長期計画の適正規模への見直し() (第2～4四半期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営事業等評価委員会の開催 ・ 水道用水及び工業用水施設の中長期整備事業計画の見直し 	<p>【 アウトプットの数値目標 】</p>

()

・ 水需要予測と中長期計画の適正規模への見直し

： 節水型ライフスタイルの広がりや人口動向を背景とする水需要の逓減、受水市町村の要望などを踏まえ、水道用水及び工業用水施設の今後あるべき適正な施設規模や機能の維持について、優先順位を検討した上で、中長期整備事業計画を見直す。